

第14回沼津市議会定例会

一般質問

* 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全て一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

平成30年9月25日、26日、27日

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
1	10番 加藤明子 *一括方式	1 より多くの人に本市で働いてもらうための施策について (1) 起業創業の支援について ① 沼津チャレンジオフィスの現状と今後の展開 (2) 沼津しごと応援サイトぬまjobについて ① 認識と現状と実績 (3) 女性の就労支援について ① 認識と取り組み ② 「えるぼし」認定及び「くるみん」認定の普及啓発に対する取り組み 2 本市のパパママ乳幼児の外出支援について (1) 沼津市赤ちゃんの駅事業に対する取り組み (2) 移動式赤ちゃんの駅に対する考え	市長 関係部長
2	3番 小澤隆 *一括方式	1 本市における災害時の情報管理について (1) 積極的な情報収集 (2) 情報トリアージ (3) 正確で効果的な情報発信	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
3	11番 渡邊博夫 ＊一括方式	<ol style="list-style-type: none"> 1 本市における公文書管理について <ol style="list-style-type: none"> (1) 公文書に係る認識 (2) 公文書管理の現状 (3) 情報公開のための公文書の保存 (4) 適正な公文書管理のための職員への周知 (5) 書庫に係る災害対策 2 障害者雇用数の水増し問題と障害者の就労について <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市役所における障害のある職員の雇用状況 <ol style="list-style-type: none"> ① 現状とその認識 ② 障害のある職員との共生に向けての取り組み (2) 障害のある人の就労のあり方についての認識と問題点の改善に向けた取り組み 3 本市の防災対策について <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成30年7月の豪雨災害を教訓とした今後の風水害対策 <ol style="list-style-type: none"> ① 今年度の大雨警報等の発表と市の対応状況及び過年度との比較並びに変化の要因 ② 平成30年7月豪雨災害の教訓をどう分析検証するのか ③ 本市の風水害対策の現状 ④ 教訓を踏まえた本市の今後の対策 (2) 地震・津波対策 <ol style="list-style-type: none"> ① 平成30年大阪府北部を震源とする地震により浮き彫りとなった課題及び本市の対応状況 ② 道路境界に面するブロック塀改善の方法 ③ ワークショップによる自助、共助の認識定着効果 ④ 今後の地域防災力強化のための対策及び人材育成のあり方 	市長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4	13番 片岡章一 *一括方式	1 本市のSDGs（持続可能な開発目標）の取 り組みについて (1) 認識 (2) 周知 (3) 次期沼津市総合計画への反映 2 防災・減災対策について (1) 沼津市版被災者支援システムの導入 ① 進捗状況 ② 今後の取り組み (2) 地区防災計画の策定 ① 認識、課題 ② 避難所運営マニュアル ③ 進め方 ④ 行政とのかかわり ⑤ 周知と生かし方 (3) 土のうステーションの設置 3 ごみに関する対策について (1) 食品ロス削減の取り組み (2) ごみ集積施設整備のさらなる推進 (3) 野焼き対策 4 2020東京オリンピック・パラリンピックに向 けた取り組みについて (1) これまでの取り組み (2) 今後の具体的な取り組み	市 長 教 育 長 関 係 部 長
5	27番 城内 務 *一問一答	1 定住人口の確保対策について (1) 若者世代住宅取得促進事業について ① 事業実施の状況 ② 沼津市地域住宅計画の進捗状況 (2) 空き家等の実態調査と空き家バンクの活用 について ① 実態調査の進捗状況 ② 空き家バンクの活用 (3) 市街化調整区域の空き家等の有効活用につ いて (4) 「農地付き空き家」の有効活用について ① 農業地域の抱える諸課題についての認識 ② 農地取得の下限面積要件 ③ 「農地付き空き家」の有効活用につ いての認識と今後の取り組み	市 長 関 係 部 長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
6	9 番 植 松 恭 一 ＊一問一答	1 市長の考える沼津市の未来の姿とは 2 市長の選挙公約と今後の取り組み方について (1) 市民目線に立った業務の推進と I T 化 (2) 本市西部地区と富士市東部地区との連携 (3) 三浦、戸田地区の海資源を生かすとは (4) 各種スポーツ団体への支援 (5) 市民活動グループへの支援と協働 3 小中学校普通教室へのエアコン設置について (1) 何のためにやるのか (2) 具体的な発注方法や詳細なスケジュール (3) 設置工事の期間及び学校生活への影響 (4) 補助金申請及び補助金の見込額についての認識 (5) 課題認識と打開策 4 ラブライブ！サンシャイン！！等の活用と地域へのかかわりについて (1) 長井崎中学校の活用 (2) 地域との連携 5 防犯カメラ設置について (1) その意義 (2) 今後の考えと取り組み方 6 市役所の事務ミス等の改善について (1) 改善への取り組み (2) 人員増についての考え方 7 頼重市政における広報のあり方と業務のスピード化について	市 長 教 育 長 関 係 部 長
7	20 番 水 口 淳 ＊一括方式	1 沼津市とロシアとの友好関係について (1) 7月20日の日露友好ロシア訪問団歓迎行事に対する認識 (2) 戸田港まつり、ロシア人供養祭に対する認識 2 沼津市戸田造船郷土資料博物館開館50周年を記念した事業への考えについて 3 伊豆中南部地域半島振興計画の県道沼津土肥線（旧戸田村区間）について	市 長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
8	16番 梶 泰久 *複合	1 本市職員の障がい者雇用について (1) 障がい者雇用の現状と今後の取り組み 2 沼津市各種競技大会参加者賞賜金交付基準の見直しについて (1) 賞賜金交付の考え方と交付実績について (2) 賞賜金交付の拡充について ① 賞賜金交付対象者の拡大 ② 賞賜金交付対象となる大会の拡大	市長 関係部長
9	21番 中田孝幸 *一問一答	1 沼津駅付近鉄道高架事業の費用便益について (1) 費用便益比の基本的認識について ① 地方自治法に基づく理解 ② 市民への情報提供 ③ 費用における総額と沼津市の負担の額 (2) 本事業の費用について ① 算定の考え方 ② 算定事業 ③ 算定の期間 (3) 本事業の便益について ① 算定の考え方 ② 算定内容 ③ 算定範囲 ④ 算定における範囲内道路の状況 ⑤ 算定の期間と算出方法 (4) 初年度便益について ① 基本的考え方 ② 事業が完了している場合の便益の算定 ③ 事業が完了していない場合の便益の算定 ④ 初年度便益の内訳	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を求める者
10	22番 川口三男 *複合	1 2040年問題及び頼重市長就任直後作成の「沼津市中心市街地まちづくり戦略に向けて」の具体化と鉄道高架事業の公共性について (1) 2040年問題の評価・認識と問題解決のためのまちづくりの具体的対策の取り組み (2) 「沼津市中心市街地まちづくり戦略に向けて」に基づき、実現に向けての戦略の内容や市民・関係機関との情報の共有等についての具体的取り組み内容 (3) 鉄道高架事業を手段とするまちづくりから得られる公共の福祉及び公共性についての将来像の具体的なまちのイメージ、享受できる市政の内容と戦略	市長
11	6番 殿岡修 *一問一答	1 本市の人口減少問題について (1) 沼津市長期財政に関する試算について ① 前市長の市政に対する評価 ② 30年後も健全財政を維持できるとの認識の市長発言の根拠 ③ 鉄道高架事業の事業費の取り扱い (2) 本市の目指す目標合計特殊出生率 2 新貨物ターミナルの用地内の立ち木について (1) 立ち木所有者の権利に関する認識	市長
12	7番 江本浩二 *一問一答	1 学校給食について (1) 所信表明中の「子育て・教育環境の充実を図る」「若者世代の定住を促す」の観点から、本市の学校給食の現状と目指すべき姿 (2) 本市の行財政運営の観点から学校給食に係る諸課題に対する認識 ① 給食調理業務の臨時職員化と委託化 ② 単独調理方式と共同調理方式 ③ 給食費の公会計化 ④ 子育て世代への支援 ⑤ 経済格差への対応 (3) 地元食材の活用 ① 沼津市食育推進計画 ② 地元関係者との連携	市長 教育長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
13	19番 岩崎英亮 *一括方式	1 市長の政治姿勢について (1) 障害者雇用について ① 本市職員の障害者雇用の状況 ② 市内の障害者雇用の状況 ③ 障害のある人に対する就労支援 (2) ふるさと納税について ① 返礼品の状況 ② 新たな返礼品の検討 (3) スルガ銀行の不正問題について ① 現在までの状況 ② 本市の対応	市長 関係部長
14	8番 梅沢弘 *一問一答	1 市長の政治姿勢について (1) 人口減少時代の都市のあり方について ① 持続可能性 ② 成長型都市経営から成熟型都市経営へ ③ 人口減少問題と鉄道高架事業 (2) 国（省庁）の政策動向について ① 中学生、高校生向けの財政教材（財務省）に対する認識 ② 自治体戦略2040構想（総務省）に対する認識 ③ 政策ベンチャー2030（国土交通省）に対する認識 ④ 時代の経過に伴う将来政策の変更 (3) 自然災害と自治体財政について (4) 住民投票の実施について (5) ふるさと住民票の進捗状況について	市長 関係部長